

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道341号 <small>よろいばた</small> 鎧畑拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	秋田県
起終点	自：秋田県仙北郡田沢湖町田沢字倍田 至：秋田県仙北郡田沢湖町田沢字牛台	延長	3.8km		
事業概要	国道341号は、秋田県鹿角市から秋田県本荘市に至る延長約175kmの主要な幹線道路であり、県北部と県南部を結ぶ産業・経済を支える重要な路線である。鎧畑拡幅は、幅員狭小、線形不良の狭隘区間や事前通行規制区間を解消し、安全で円滑な交通の確保と観光周遊道路の機能向上を図る延長3.8kmの2車線道路である。				
H2年度事業化	H - 年度都市計画決定 (H - 年度変更)	H3年度用地着手	H3年度工事着手		
全体事業費	約93億円	事業進捗率	約96%	供用済延長	2.6km
計画交通量	3,800台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 21.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 5/120億円 〔事業費：3/115億円〕 〔維持管理費：2/5億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 107/174億円 〔走行時間短縮便益：76/137億円〕 〔走行費用減少便益：29/35億円〕 〔交通事故減少便益：2/2億円〕	基準年	平成16年
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・国土・地域ネットワークの構築（大型車のすれ違い困難区間L=2.2km W=5.0(6.0)mを解消） ・個性ある地域の形成（主要な観光地八幡平国立公園、玉川温泉郷へのアクセス向上） ・災害への備え（事前通行規制区間L=3.8kmを解消） 他7項目に該当（定量的評価項目も含む） 				
関係する地方公共団体等の意見	国道341号は、十和田八幡平国立公園、玉川温泉郷、田沢湖・角館を結ぶ広域観光ルートであり、地域連携や地域経済に重要な役割を果たすことが期待されており、鹿角市をはじめとする関係1市5町1村の首長で構成される角館大鰐間国道整備促進期成同盟会より早期完成の要望(平成16年10月6日)を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	大型車のすれ違い困難区間であるトンネルは供用されており、交通環境改善がみられる。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに、終点側2.6kmを供用している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残り1.2km区間については、既に用地買収が完了しており、平成17年度にはL=0.2km、平成18年度にはL=1.0km供用を予定している。				
施設の構造や工法の変更等	残り1.2km区間において、当初、トンネル(100m)及び橋(30m)を含むバイパス計画であったが、現道改良に変更し、コスト縮減(約19億円)を図っている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。